



ひがふなフェスタ・公認オリジナルキャラクター

# 第10回 ひがふなフェスタ 2019 へのご来場ありがとうございました。

## 多くの皆さまのおかげで無事に開催することができました。

### 今回の「ひがふなフェスタ通信」では、各エリアの運営に携わった方々の声をお届けします。



#### ステージ・出演団体管理担当

今回トラックステージを2カ所設け、ダンス、歌、バンドなどで、東船橋近隣の学校の児童や生徒、地元出身者、地元で活躍している方々に披露して頂きました。ご家族やご友人が応援に来ていたり、久々に級友に会って懐かしんだりという場面もあり、微笑ましく思えました。ステージでとても大事な音響には、船橋に会社を構えている方が、ミキサー、スピーカー等をひがふなフェスタの為にとお力添えくださり、ど素人の我々運営事務局員をサポートし、とても助けて下さいました。他にも、ステージ出演者が、ご自分の機材を快く提供して下さったりと、出演者する人、観る人、作る人、皆でステージは成り立っているのだと実感しました。

担当：永井



#### 防災担当

今年のひがふなフェスタを通じて色々な経験ができました。防災エリア担当として、今までは気にしてこなかったことを調べたり聞いたり、防災に対する気持ちが高まりました。そして何より、関わってくれた方々が防災に対する意識、災害に備える心構えがしっかりとされていたことは、とても心強い思いでした。準備段階から初めてお会いする方が、私のわからないことを本当に熱心に教えていただき、当日も朝早くから手伝いをして頂いたこと、当日に初めて会ったのに現場を見ながら力を発揮して動いて頂いたこと、関わってくれた全ての方々に感謝の気持ちを伝えたいです。一人ひとりの気持ちが集まり、人が助け合いの気持ちで繋がっていく、人の輪がこれからも大きく沢山の輪ができることと信じています。本当にありがとうございました。

担当：積田(賢)



#### 環境担当

今回は、環境も踏まえてゴミの分別を行いました。特に、貝殻は毎年、その処分が大変なため、今年は漁協さんの全面協力のもとに貝殻を持って帰って頂く事になり、大変助かりました。分別は、サンマの骨などの生ゴミ、貝殻、燃えるゴミ、ビン、缶という内容で仕分けを行いました。袋がいっぱいになると、まとめて、なか卯さんの横に停めたトラックに積み込んだので、終了後も大変スムーズに処分出来ました。来場者が協力的で、皆さん「ありがとうございます。」と下さったのが意外でしたし、嬉しく思いました。ゴミの分別は、環境に対する警鐘として大事な事ですね。こういった人がたくさん集まるイベントだからこそ、仕分けを行う意味があると思います。フェスタ終了後に、会場にゴミ一つ落ちていなくて本当に気持ちが良かったです。来年度の課題としては、ゴミステーションの場所を考えて設置し、予め来場される皆さまにわかる様に掲示をするよう考えています。

担当：山本

#### 直営店担当

今年のひがふなフェスタの直営店は、定番の焼きそばや屋台で常に人気上位のじゃがバター、チョコバナナ、他は韓国シリーズでホットク、電球ソーダを販売しました。スタートと同時に雨が降り出し、その後も午前中は降ったり止んだりで天気不安定で、販売も苦戦を強いられましたが、午後は天気も落ち着いてきて、お客様の賑わいも出てきて販売もうなぎ上り！チョコバナナ、焼きそばと早い時間に売り切れが出ました。じゃがバターは機器トラブルもあり提供が遅れたことは悔やまれます。韓国シリーズは知名度が低かったのか、ホットクは美味しさが伝わらなかつたりましたが、電球ソーダは実際に買った子どもたちが首からぶら下げているのを見て、わざわざ買いに来てくれました！来年もお祭りを盛り上げる「美味しい楽しい屋台」を目指していきたいと思っております！！

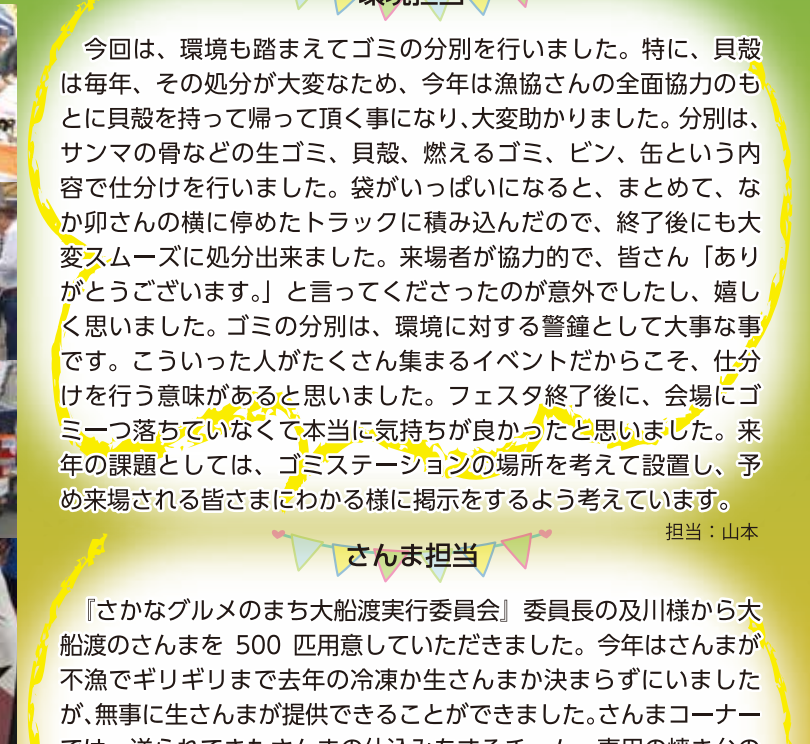
担当：本多



#### ひがふなサポーター担当

今年度のひがふなフェスタは150名を超えるサポーターの皆様にご協力いただきました。サポーターなくしてひがふなフェスタは実現できません。サポーターの皆様あってのひがふなフェスタです。募集は一般チラシ、フェイスブックなどのSNSを使ったの公募をはじめ、事務局員の知り合いを通じて募集しています。ご協力いただくサポーターの皆様の希望時間、希望お手伝い内容を整理し、ジグソーパズルのように当てはめていきます。ここの話、これがまた一苦労(笑)パズルが完成したら皆様へ個別連絡をし、皆様に来て下さることを祈りながら当日を迎えます。有難いことに今年度は応募いただいた皆様の参加率が100%でした。これほど嬉しいものはないですね。次回もサポーターをやりたいたい・・・そんなフェスタを目指していきたいと思っております。

担当：佐藤



#### 昔あそび担当

昔あそびエリアでは、ご年配の方が子供たちに教えて一緒に遊ぶ事で世代間交流を深めて互いに楽しさを実感出来れば良いと思い企画しました。まずは教えてくれる先生探しが大変でした。公民館で教わった団体に交渉したけど都合が合わなかったり、各自自治会の会合に行ってお願ひもしました。頑張った甲斐あって当日は素晴らしい三世代の交流が見られました。最近、なかなか体験出来ない昔あそびが子供たちの良い思い出となってくれれば嬉しいです。

担当：伊藤(大)

